

歴史的・文化的資産を有する 地方公共団体のニーズ等について

－歴史的・文化的資産を活かしたまちづくりアンケート結果の概要－

平成18年4月5日

国土交通省都市・地域整備局

歴史的・文化的資産を活かしたまちづくり・地域づくりに関する アンケート調査について

1. アンケート調査の概要について

歴史的・文化的資産を活かしたまちづくり、地域づくりに取り組んでいる地方公共団体における現況、問題意識等のニーズを把握するため、アンケート調査を実施

調査対象 歴史的・文化的資産を有する65市町(次表ー1参照)

実施方法 郵送によりアンケート調査様式への記入

上記のうち一部の都市については地方整備局による補足ヒアリングを実施

実施時期 アンケート発送 平成18年2月7日

回答期日 平成18年2月24日

補足ヒアリング 平成18年2月28日～3月10日

○アンケート対象都市

アンケート対象都市は、伝統的建造物群保存地区の指定を受けた歴史的建造物等を有する都市、歴史的文化的資産を有すると思われる地方公共団体のなかから、町の類型に配慮しつつ、全国から以下の65都市を選定

表-1 アンケート対象都市

街の類型 地域	城下町・武家町	門前町(寺内町・ 鳥居前町を含む)	商家町・在郷町・産業町	宿場町	港町	古都 (宮跡等)	別荘都市	都市数
北海道	函館市		函館市		函館市・小樽市			2
東北	弘前市・金ヶ崎町 角館町・鶴岡市 会津若松市	弘前市	会津若松市	下郷町	酒田市	平泉町		8
関東	甘楽町・小田原市 佐倉市・足利市 小田原市	笠間市	栃木市・川越市 佐原市・小布施町 小田原市				葉山町・大磯町 湯河原町・軽井沢町	14
北陸	金沢市・村上市		高岡市・村上市 金沢市		村上市			3
中部	犬山市	伊勢市 津市	高山市 飛騨市	中津川市 三島市		明和町		8
近畿	豊岡市 大和郡山市	富田林市 宇治市	近江八幡市・伊勢市 富田林市・東近江市 長浜市	若狭町	小浜市 舞鶴市	吉野町		14
中国	松江市・萩市		倉敷市・松江市 太田市		萩市・倉敷市 松江市・境港市			5
四国	大洲市・高知市	琴平町	美馬市・内子町					5
九州	熊本市・佐賀市 島原市・日南市 臼杵市・知覧町				長崎市・熊本市 日南市	大宰府市	別府市	9
沖縄						那覇市		1
合計	26	7	22	4	13	5	5	65

2. 歴史的・文化的資産の内容と当該資産の現状について

○歴史的・文化的資産の類型

地方公共団体が保存・活用に取り組んでいる歴史的・文化的資産として、以下の8類型に区分して、現状を把握した。

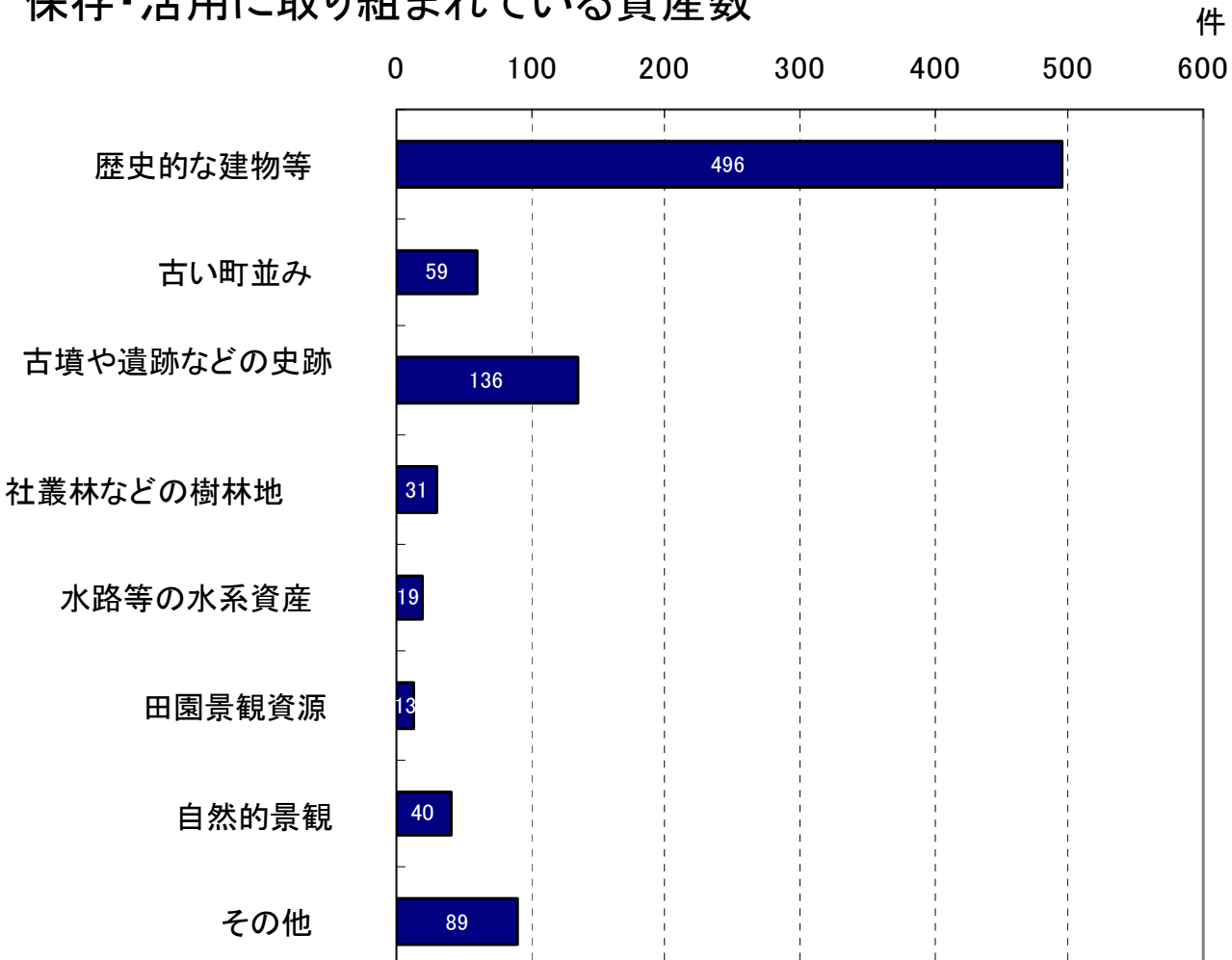
表－2 歴史的文化的資産の類型区分

- 歴史的な建物等・・・・・・・・古い町家、武家屋敷の遺構、庭園、旧宅などの歴史的な建物、園地
- 古い町並み・・・・・・・・歴史的、伝統的な建造物群などの古い町並み（保存地区指定外も含む）
- 古墳や遺跡などの史跡・・古墳や遺構などの文化財、古戦場、城址、陣屋跡、本陣跡
- 社叢林などの樹林地・・・・社寺仏閣等の社叢林（鎮守の森など）、屋敷林などの樹林地
- 水路などの水系資産・・・・掘割、水路、運河、用水、背割り下水など
- 田園景観資源・・・・・・・・棚田、里山、溜め池、湧水などの田園景観
- 自然的景観・・・・・・・・独立峰、市街地周辺の山丘などの自然的景観
- その他・・・・・・・・並木、街道、参道、公園、広場、記念碑、堤防、貯水池、閘門、橋梁

○歴史的・文化的資産の内容

地方公共団体が保存・活用に取り組んでいる歴史的・文化的資産は、歴史的な建物等が最も多く、続いて、古墳や遺跡等、古い町並み、自然的景観、社叢林などの樹林地と続く

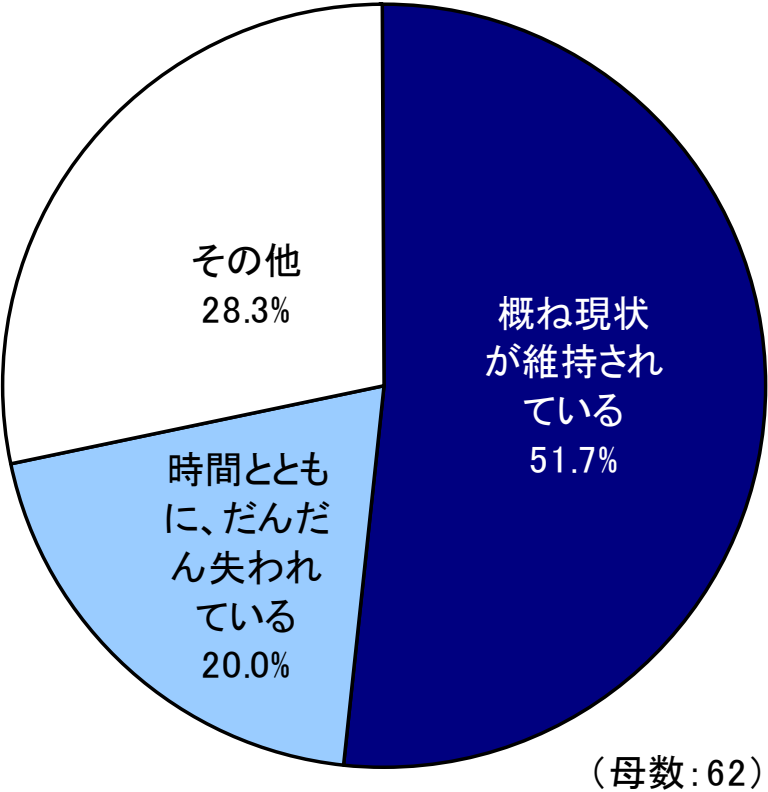
図ー1 保存・活用に取り組まれている資産数



○歴史的・文化的資産の状況

保存・活用に取り組んでいる歴史的・文化的資産は、おおむね維持されているとする回答が5割である一方、時間とともに失われつつあるとの回答が2割を占めている

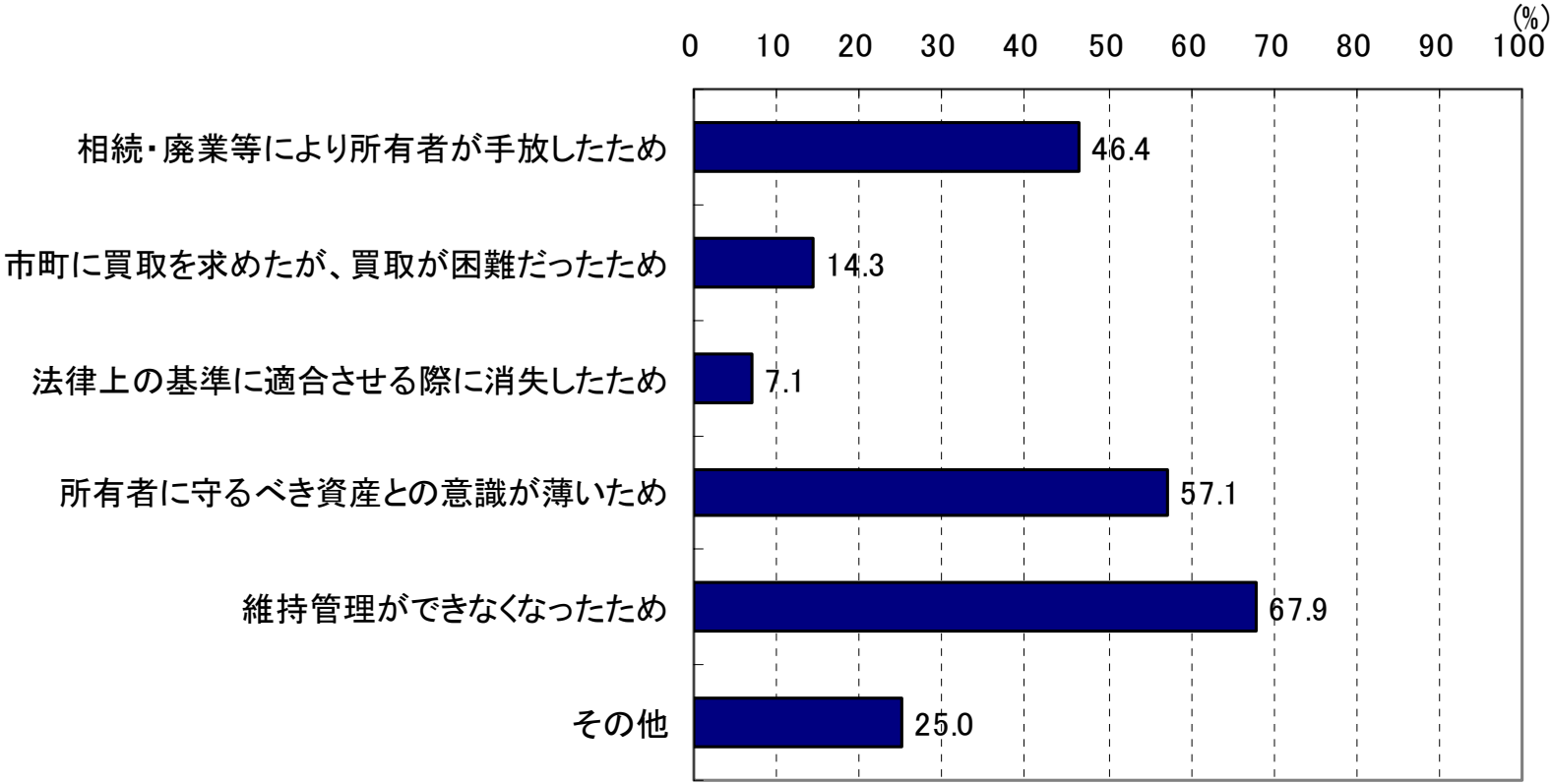
図-2 歴史的・文化的資産の現状認識



○歴史的・文化的資産が失われつつある原因

歴史的・文化的資産が失われつつある理由として、維持管理の問題、所有者の意識の問題、相続・廃業の問題等を挙げた地方公共団体が多い

図一3 歴史的・文化的資産が失われつつある原因



(母数:28)

例えば「維持管理ができなくなった」理由をみると、維持管理経費の負担感、歴史的建物の老朽化や生活様式の変化・保存意識に起因する建替え、高齢者の独居・空家化・転売・除去といった社会現象など、様々な課題が複合的に影響している。

歴史的・文化的資産が失われつつある原因(アンケート結果抜粋)

- ・歴史的建造物の維持・管理や修景工事には多大な費用を要するため所有者にとって大きな負担。
- ・伝統的建造物の場合、所有者や居住者に建物に対する愛着を持っていない場合や、建主の子孫以外が居住する場合に失われる
- ・歴史的建造物の多くが個人や企業が保養所等として所有しているものが多く、老朽化による建替え、相続や遊休資産の処分により消失しつつある。
- ・歴史的な町家の中で跡継ぎが同居している場合は、生活様式の違いなどにより建替えが行われることが多い
- ・建物の老朽化により建替えが行われる際、近代的な建物にかわってしまう。
- ・温泉町の町並み保全について地元住民理解は得られても、ほかの地区の資金が入ってきた場合に理解が得られない
- ・生産年齢者の就業地が遠方で、残された高齢者の独居から空家、転売、除去ということもある。
- ・公有化、維持管理助成、普及啓発いずれも多額の予算が必要。
- ・相続税支払いや事業経営の不振を補填するため歴史的資産である夏みかん畑を宅地化する例がある
- ・歴史的建築物が取り壊される理由は、老朽化とともに、所有者に保存意識がないことにある。
- ・歴史的景観は周辺の自然景観と一体となったものとの認識が薄く、歴史的景観の「歴史性・風土性」を高めるべき天然樹林の滅失が進みつつある。

3.地方公共団体の問題意識やニーズについて

歴史的・文化的資産が失われつつある原因等に対する地方公共団体の問題意識やニーズ等を分類すると、下記のように概ね6項目に区分される

- ①屋外広告物、高層建築物、工作物などの阻害要因の排除
- ②歴史的な建物の形態維持について
- ③高齢化などの社会現象への対応について
- ④維持管理費用助成などの財政支援措置について
- ⑤行政・住民意識等について
- ⑥技術者や材料の調達について

①阻害要因の排除

歴史的・文化的資産を活かしたまちづくりを進める上で、屋外広告物、当該資産に近接する高層建築物や工作物などが阻害要因となるとの認識がある

地方公共団体の問題意識(アンケート結果抜粋)

- ・国道沿いにおける屋外広告物氾濫への対応
- ・全国展開するチェーン店や企業のシンボルカラー等が景観と不調和
- ・観光客誘致のため看板、路上における物品販売、派手な装飾など町並みにそぐわない事例が増加
- ・自然環境の破壊(開発)、携帯電話の電波塔の建設等、景観を阻害する要因が散見
- ・歴史的街並みの大部分が商業地域に指定されており、高層建築物が進出
- ・商業者による派手な外観の建築物に対する誘導・協議が困難
- ・自然景観を遮断する高層建築物制限
- ・新エネルギー推進のための太陽光発電装置と歴史的文化的景観の保護との調整

など

参考：阻害要因への対応

金沢市では、眺望景観の保全のため、浅野川、主計町、東山ひがし茶屋町など、主要な眺望点からの眺望景観を保全するため、条例で中高層建築物等の高さ、形態、色彩等について助言、指導等を実施

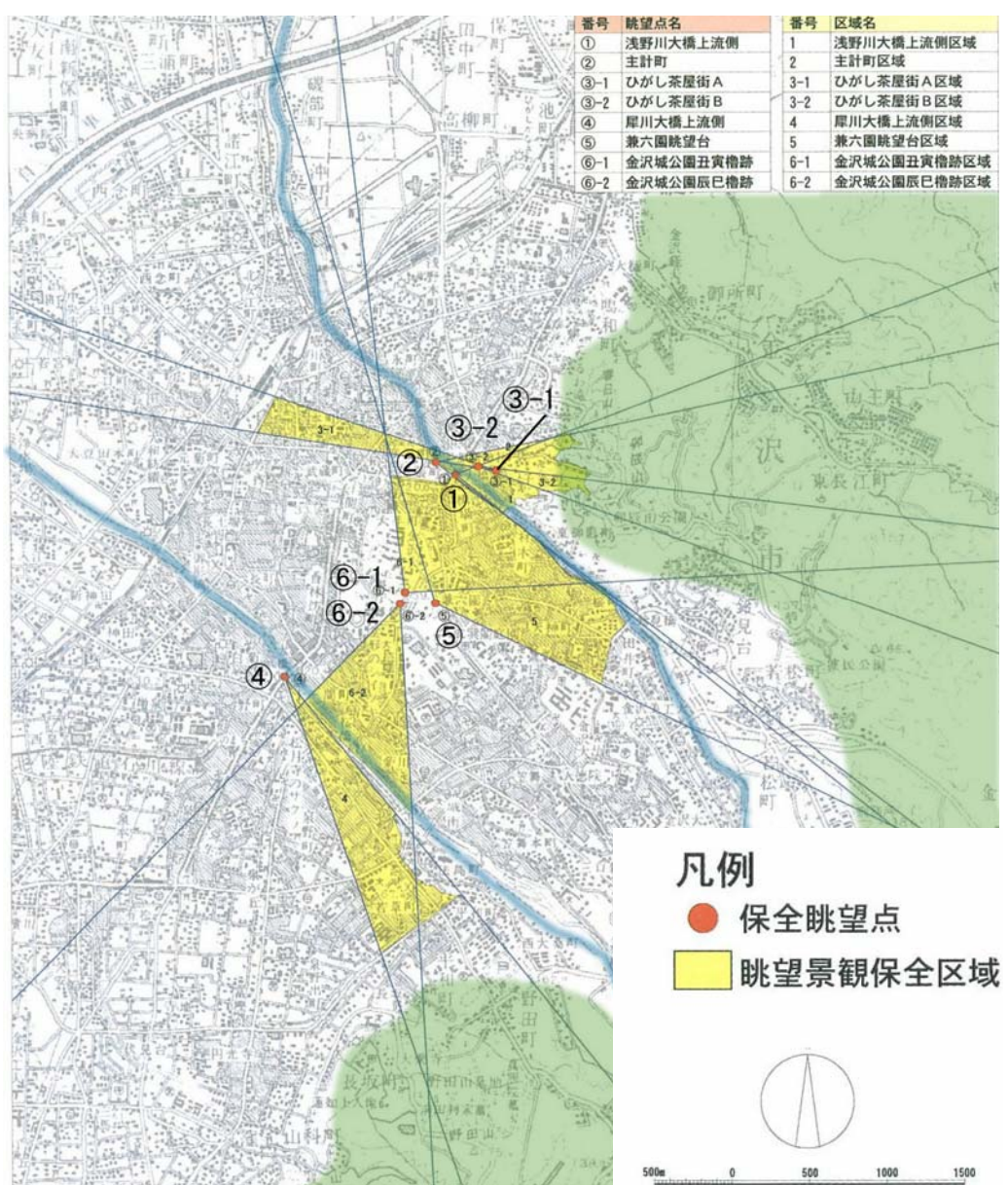


現在



シミュレーション

その他都市計画法に基づく高度地区、景観地区、風致地区の指定等により同様の対応が可能



②歴史的な建物の形態維持について

伝統的建造物群保存地区における伝統的建造物の形態維持について、既存の制度等が支障になっているとの指摘もある

地方公共団体の問題意識(アンケート結果抜粋)

- ・企業が所有する歴史的建造物に対する「重要景観建築物」指定は企業のメリットがなく企業の同意を得るのが困難
- ・企業所有建築物の消失等の情報把握が困難
- ・伝統的建造物群保存地区における建築基準法緩和の適用除外となる建築物による町並みの変容
- ・城下町時代の幅員をそのまま残す街路は歴史的街区の特徴であるが、当該街路の幅員が狭隘であるため、文化財以外の歴史的建造物は壁面後退を余儀なくされ、その結果、軒線や壁面線がそろわず、景観の調和を維持することが困難
- ・町並みの景観保護を目的とした場合の建築基準法の緩和が必要
- ・間口が狭く奥行きが長い長屋式木造建築物で構成されている地区の保存と外壁の不燃化や居室における採光・換気などを要件とする建築基準法との調整が困難

など

③高齢化などの社会現象への対応について

歴史的・文化的資産のうち、町家などの建築物は、住民の高齢化や、建築物の老朽化、世代交代を契機に空き家化したり、取り壊されて空地や駐車場に転用されるケースを指摘するものが多い

地方公共団体の問題意識(アンケート結果抜粋)

- ・空地、空き家の増加、駐車スペースの確保、在住者の高齢化、後継者不足、保存に関する合意形成の困難性
- ・空き家等の活用に関する需給調整システムの不在
- ・歴史的建造物所有者の高齢化と建物の老朽化により、所有者の世代交代に伴う建物の保全が危惧
- ・個人所有の町家における後継者不在からの空き家化、ならびに取り壊しによる駐車場化などによって、空地が町並みの連続性を失い、景観破壊が進行
- ・規模の大きな町家の相続時の売却や建て替えの増加
- ・歴史的建造物の維持管理ならびに修景工事にかかる費用が多大で所有者負担が大きく、後継者が不在の場合や利活用の見込みがない場合には取り壊され、駐車場化が進行するなどによって、歴史的景観が阻害

など

また、資産を保全する上で、木造建築物の火災の懸念について、地元住民の高齢化による初動体制への不安の指摘もみられる

地方公共団体の問題意識(アンケート結果抜粋)

- ・木造の老朽化した空き家や高齢者世帯が多く、火災等の災害による被害を危惧
- ・火災原因として増えている放火被害について市民全体の意識高揚が必要
- ・地区内に耐震性防火水槽がなく、地震時の火災への対応が課題
- ・地区住民の空洞化と高齢化により、初期消火の初動体制に課題
- ・防災に関する専門家意見・指導を得る機会が少なく、防災対策費の確保も課題
- ・地震、火災、水害の防災面全て課題

など

④維持管理費用助成などの財政支援措置について

町家等の維持管理に助成金を支出する地方公共団体も多いが、財源の確保が課題とするところも多い。また、一部の地方公共団体には公益信託等による活動助成も見られるが、利息運営に限界を感じている。

地方公共団体の問題意識(アンケート結果抜粋)

- ・相続税の負担など税負担が過大
- ・公共が所有する歴史的建造物の一般公開などを含めた日常管理に対する費用負担が行政の財政的課題
- ・地区の高齢化により修理修景事業のみならず、買取等公有化が必要とされるが、財政が逼迫しており、財源措置が課題
- ・修理に要する費用が高額であるにも関わらず、行政からの助成措置が財政的に厳しく補助金が十分に確保できない
- ・バブル崩壊以降、廃業・破綻する建築物もあるが、財政の問題もあり放置せざるを得ない
- ・公営信託基金がまちづくり活動へ助成しているが、利息運営ができず、積み立て金の取り崩しで助成を維持

など

行政の公的支援拡大が難しい中でファンド等の必要性を挙げるところも多いが、財源の捻出と確保の難しさ、低金利による運用資産の少なさが課題とする意見が多い

地方公共団体の問題意識(アンケート結果抜粋)

- ・行政の公的支援拡大が困難で、民間活力を導入して如何に資産の維持・再生を図るかが課題
- ・地方都市ではファンド創設は困難
- ・ファンドの必要性はあるが、低金利時代の運用資金の枯渇、有効利用のためのアドバイザースタッフの確保、行政との連携や情報交換の円滑運用が課題
- ・ファンドの有効性は認めるが財源の捻出と確保が困難

など

⑤行政・住民意識等について

歴史的・文化資産の多くは現に住民生活の場であり、住民の理解と協力が不可欠との認識の一方、住民間、世代間などの意識差が大きく、如何に関心を高めるかが課題との指摘も多い

地方公共団体の問題意識(アンケート結果抜粋)

- ・維持管理に向けた公共財源投資に対する住民の合意形成が困難
- ・歴史的文化的資産を活かしたまちづくりに理解は得られるが、個人負担が懸念
- ・歴史的街区は住民の生活の場であり、住民理解が不可欠
- ・歴史的な町並み、風景等に価値を見出すことのできる住民意識の醸成が重要
- ・所有者の保存活用に対する意識が低く、行政への依存度が大
- ・伝建地区など広範にわたる場合にはすべての住民の理解は困難
- ・市民一人ひとりが景観を守り育てるという意識が薄弱
- ・伝建地区におけるプレハブ住宅の建築増大など住民意識の欠如が課題
- ・歴史的街区に調和し、時代に即した商業活動の展開が課題
- ・歴史的都市の魅力に対する世代間のギャップ
- ・市民の意識啓発に対して行政の真摯な対応が必要

など

⑥技術者や材料の調達について

伝統的な民家に手を加えられる技術者不足や材料の少なさを懸念する意見もある。また、産業構造変化により、例えばヨシ原の維持管理が困難になったとの例も指摘されている

地方公共団体の問題意識(アンケート結果抜粋)

- ・伝統的な民家に手を加えられる技術者が少なくなっており、技術者養成が必要
- ・修理技術者の枯渇、工法の変化により社会的需要が減少
- ・伝統材料、伝統規格にあった製品調達が課題
- ・歴史的・文化的資産活用の助言者や設計者の不足
- ・時代の流れとともにヨシの生産が産業として成り立たなくなり、ヨシ原の維持保存が困難

など

參考資料

参考1 一景観行政団体の一覧

(平成18年3月15日現在)

都道府県	政令指定都市	中核市	その他の市町村
北海道	札幌市	旭川市, 函館市	東川町
青森県			青森市
岩手県			平泉町, 盛岡市, 一関市
宮城県	仙台市		
秋田県		秋田市	
山形県			酒田市(予定)
福島県		郡山市, いわき市	舘岩村(予定), 三春町(予定)
茨城県			つくば市, 守谷市
栃木県		宇都宮市	日光市, 小山市, 那須町
群馬県			伊勢崎市, 富岡市, 高崎市
埼玉県	さいたま市	川越市	秩父市, 戸田市, 八潮市, 草加市, 川口市
千葉県	千葉市	船橋市	市川市, 市原市, 我孫子市, 柏市, 佐倉市
東京都			
神奈川県	川崎市, 横浜市	横須賀市, 相模原市	真鶴町, 平塚市, 小田原市, 大磯町, 秦野市, 鎌倉市, 葉山町, 湯河原町, 逗子市, 藤沢市(予定), 茅ヶ崎市(予定), 座間市(予定), 箱根町(予定), 大和市(予定)
山梨県			山梨市, 韮崎市, 南アルプス市, 北杜市, 市川三郷町, 早川町, 富士河口湖町, 小菅村, 甲州市
長野県		長野市	小布施町
新潟県		新潟市	新発田市
富山県		富山市	
石川県		金沢市	
岐阜県		岐阜市	各務原市, 多治見市, 中津川市, 美濃市, 可児市, 下呂市, 大垣市(予定)
静岡県	静岡市	浜松市	熱海市, 富士市, 三島市
愛知県	名古屋市	豊橋市, 岡崎市, 豊田市	犬山市, 長久手町
三重県			
福井県			小浜市, 大野市, 勝山市, 福井市(予定)
滋賀県			近江八幡市, 大津市, 高島市, 彦根市(予定)
京都府	京都市		宇治市, 南丹市
大阪府	大阪市	堺市, 高槻市, 東大阪市	
兵庫県	神戸市	姫路市	伊丹市
奈良県		奈良市	橿原市(予定)
和歌山県		和歌山市	
鳥取県			倉吉市
島根県			松江市, 津和野町
岡山県		岡山市, 倉敷市	早島町, 新庄村
広島県	広島市	福山市	三次市, 尾道市, 呉市
山口県		下関市	萩市, 宇部市, 光市
徳島県			上勝町, 三好市
香川県		高松市	
愛媛県		松山市	大洲市, 今治市, 宇和島市, 八幡浜市, 新居浜市, 西条市, 伊予市, 四国中央市, 西予市, 東温市, 上島町, 松前町, 内子町, 伊方町
高知県		高知市	檜原町
福岡県	北九州市, 福岡市		志摩町
佐賀県			佐賀市, 嬉野町, 唐津市
長崎県		長崎市	
熊本県		熊本市	
大分県		大分市	別府市, 由布市, 臼杵市(予定), 宇佐市(予定)
宮崎県		宮崎市	日南市
鹿児島県		鹿児島市	
沖縄県			石垣市
合計			
47	14	37	113

参考2-「古都」としてふさわしい都市（平成17年10月 古都保存財団アンケート結果より）

回答数	「古都」としてふさわしい都市
6	岩手県西磐井郡平泉町
5	石川県金沢市
4	栃木県日光市
3	岐阜県高山市, 埼玉県川越市, 東京
2	秋田県角館町, 宮城県仙台市, 島根県出雲市, 山口県萩市, 福岡県太宰府市
1	北海道函館市, 福島県喜多方, 栃木県栃木市, 長野県松本市, 千葉県佐原市 富山県氷見市, 大阪府大阪市, 大阪府堺市, 兵庫県姫路市, 和歌山県高野町 広島県尾道市, 大分県杵築市, 長崎県長崎市, 宮崎県西都市, 琉球の首都, 沖縄県石垣市

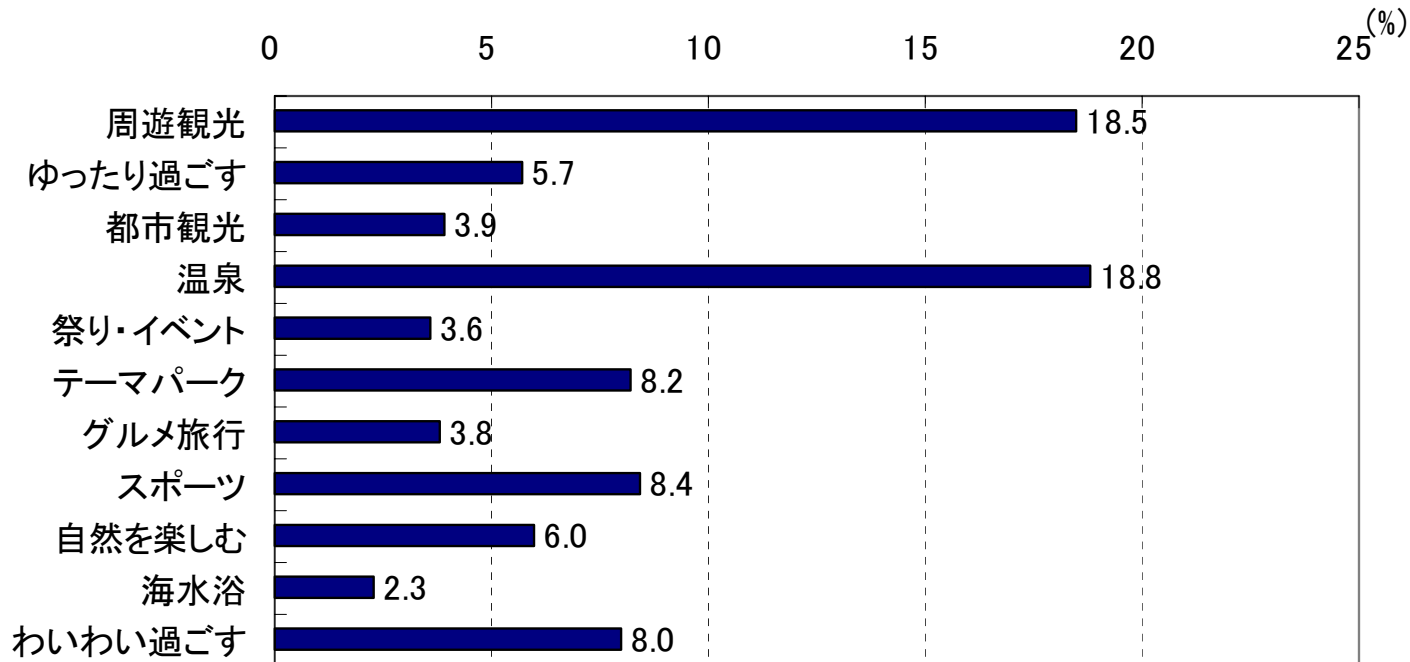
被験者：古都保存財団主催講演会参加者を対象

有効回答：112名

設 問：古都指定都市10都市以外にもあなたが古都に匹敵すると考える都市があれば、その都市名をお書きください

（平成17年10月：古都保存財団アンケート結果）

参考3ー全国における旅行タイプの動向（設問：「行ってみたい旅行はどんな旅行か」）



旅行タイプ名	定義
周遊観光	自然や名所をみてまわる観光旅行
ゆったり過ごす	水辺や高原などでゆったり過ごす旅行
都市観光	町や都市で楽しむ旅行
温泉	温泉を楽しむ旅行
祭り・イベント	祭りやイベントを楽しむ旅行
テーマパーク	テーマパークや遊園地や水族館等で楽しむ旅行
グルメ旅行	おいしいものを食べる旅行
スポーツ	スポーツを楽しむ旅行(ゴルフ・スキー・マリンスポーツ等)
自然を楽しむ	自然を楽しむ旅行(ゴルフ・山歩き・釣り等)
海水浴	海水浴
わいわい過ごす	仲間と楽しく過ごす旅行(場所や遊びにはこだわらない)

参考4ー海外に発信すべき日本ブランド

(設問:「日本のどのような魅力が『日本ブランド』だと思うか」)

(イ) 神社、仏閣など歴史的建造物や街並み

(ア) 海、山、川、里山などの自然環境

(エ) 伝統芸能や祭り、伝統産業

(カ) 日本人のもてなしの心などの国民性

(キ) 大相撲、武道など伝統的なスポーツ

(ク) すし、天ぷらなど日本の食文化

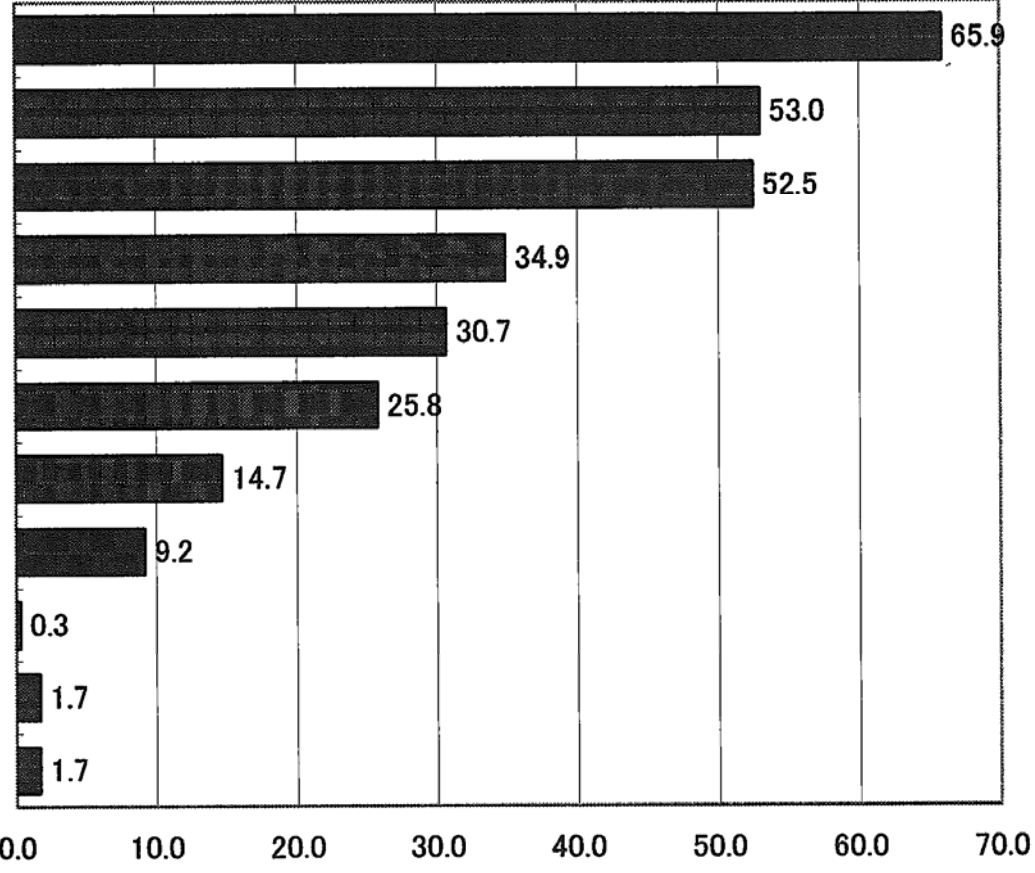
(コ) 近代的な都市文化

(ケ) ポップミュージックやアニメなど新しい文化

その他

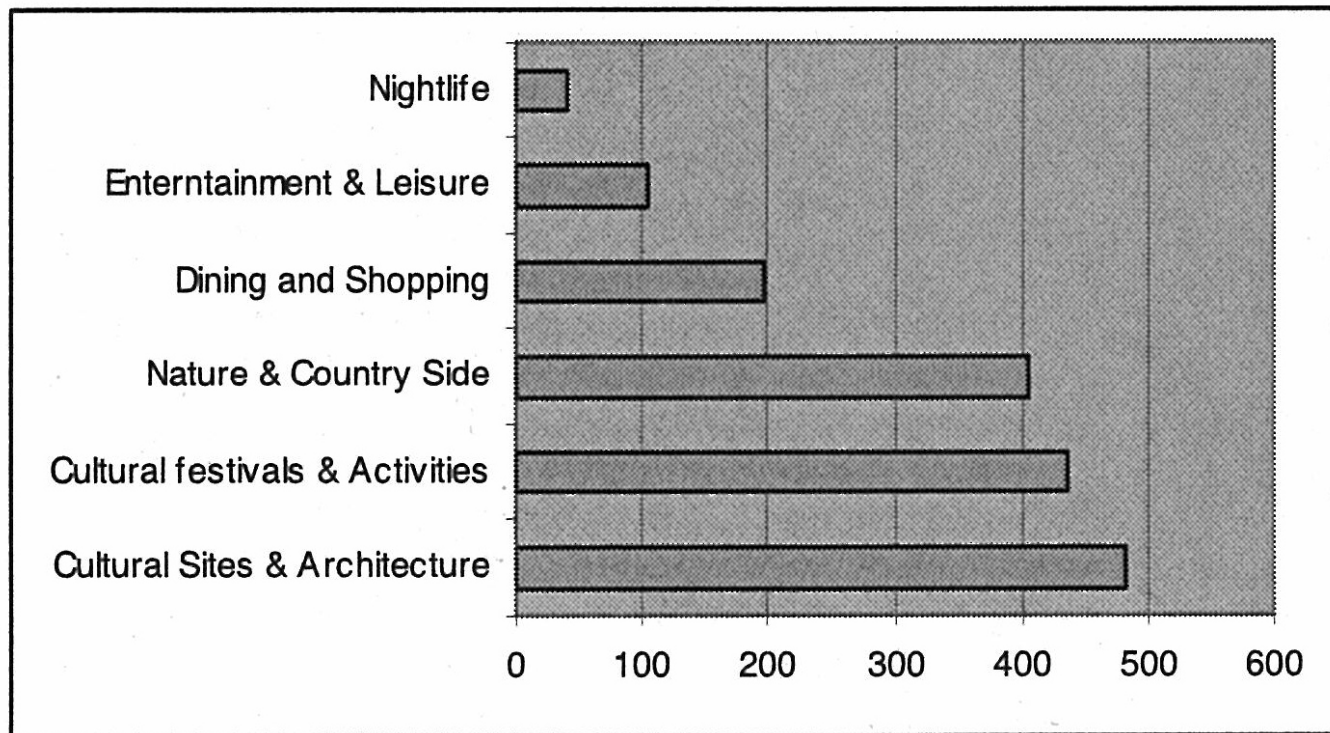
特にない

わからない



(出典:内閣府政府広報室(2004,6)「観光立国に関する特別世論調査」)

参考5ー外国人からの評価(設問:「日本の国内旅行で一番良いところは何ですか?」)

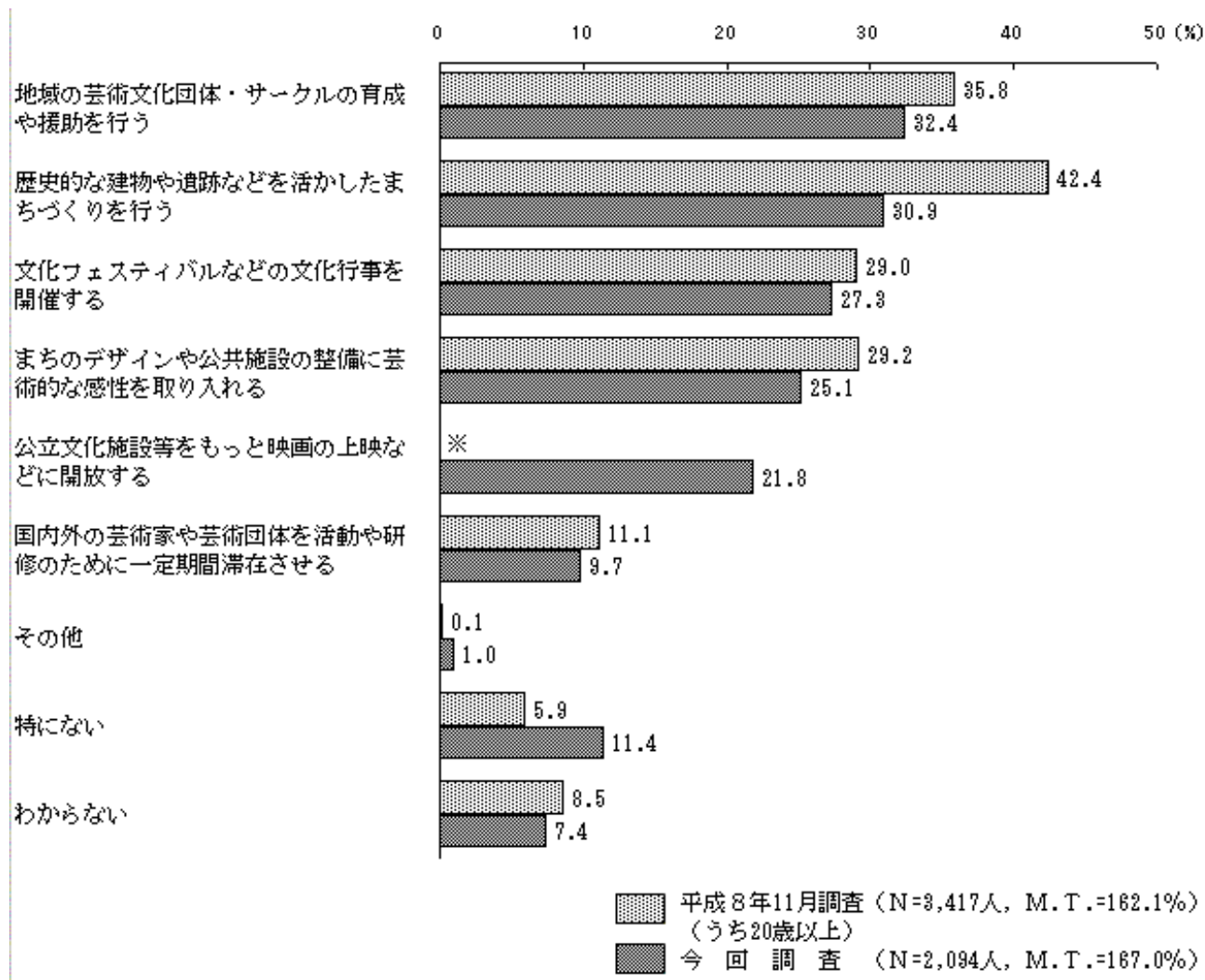


ナイトライフ	42
娯楽	105
ダイニング & ショッピング	196
自然 & 郊外	406
文化行事	437
文化、建築サイト	483

(出典:日本ツーリズム団体連合会(2005,3))

「在日外国人の日本滞在中の旅行に関する意識調査」)

参考6—文化が息づくまちづくりのための要望



(出典:「内閣府大臣官房政府広報室「文化に関する世論調査」平成15年)